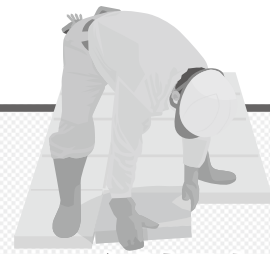




現場監理の達人 集合住宅編

第16回 石工事

工事監理ガイドライン・工事監理チェックリスト



ここでの監理者の心構え

石 材は高級素材として、外壁、エントランスの内壁や床、キッチンのカウンターなど、建築工事に多用されています。街を歩いていても、事務所や店舗に入っても、よく見かけるものです。天然素材なので、木材の木目のように色や模様がそれぞれ異なります。施工中に破損をすれば、同じ色と模様をそろえることは難しく、ガラス工事と同様に養生をして、十分に注意して取扱います。

監理者は、使用する石材が設計図書の仕様に合致しているか、石材の色調、模様、仕上げの種類や程度について、見本等によって確認します。また、石張り後の出来映えを確認します。

石材は重量があるので、外壁などの高所から石材が落下すれば、人を死傷させる事故につながります。工事監理者は、石材の取付け工法と強度・耐久性について、安全性の確認は重要な監理項目になります。

工事名		工 期	年 月 日 ()
		監理責任者	

■ 工事監理ガイドライン「10. 石工事」〈確認項目及び確認方法の例示〉

工事内容		工事監理者の確認内容	
工事の種類	項目	確認項目	具体的な確認方法
10. 石工事	10.1 材料	・ 石材（規格・種類・形状・色調・仕上げ） ・ モルタル（調合） ・ 取付け金物（規格・種類・形状）	・ 見本との照合 ・ 目視に係る立会い確認 ・ 計測に係る立会い確認 ・ 自主検査記録・材料搬入報告書・工事写真等に係る書類確認
	10.2 施工	・ 下地（鉄筋・アンカー・取付け金物・錆止め） ・ 裏面処理 ・ 取付け（取付け金物・裏ごめモルタル・だぼの固定）	・ 目視に係る立会い確認 ・ 自主検査記録・施工記録・工事写真等に係る書類確認

工事監理チェックリスト「10. 石工事」 〈公共建築工事標準仕様書（建築工事編）を参考に作成〉

工事内容		工事監理者の確認内容	
工事の種類	項目	確認項目	✓ 具体的な確認方法
1. 一般事項	10.1.1 一般事項	・ 石工事に用いる材料 ・ 石材の仕上がり面の形状、寸法、状態 ・ 石材の下地への取付	☐ 石工事に用いる材料が設計図書に定められたものであることを確認 ☐ 石材の色調、模様、仕上げの種類や程度について、見本等で確認 ☐ 石材の仕上がり面は、所定の形状及び寸法を有し、所要の状態であることの確認 ☐ 石材の下地への取付けは、強度や耐久性等を満たし、安全な状態であることの確認
	10.1.2 施工計画書等	・ 石工事施工計画書 ・ 施工図	☐ 石工事施工計画書が適切であることの確認 ☐ 施工図（石割り図、取付け工作図、その他の詳細図など）が設計図書通りであることの確認 ☐ 石工事と他工事の取合いが検討されていることの確認 ☐ 石材の取付工法、取付金物の仕様（材質、形状及び寸法）が設計図書通りであることの確認 ☐ 取付けに使用する材料（取付モルタル、充填材料など）が設計図書通りであることの確認

工事監理チェックリスト「10.石工事」

〈公共建築工事標準仕様書（建築工事編）を参考に作成〉

工事内容			工事監理者の確認内容	
工事の 種別	項目		確認項目	✓ 具体的な確認方法
2. 材料	10.2.1	石材	・石材の仕様（品質、種類など） ・石材の形状及び寸法 ・石材の表面仕上げ	☐ 石材の仕様（品質、種類など）が設計図書及び承認した見本通りであることの確認 ☐ 石材の形状及び寸法が設計図書通りであることの確認 ☐ 石材の表面仕上げが設計図書及び承認した見本通りであることの確認
	10.2.2	テラゾ	・テラゾの仕様（品質、種石の種類など） ・テラゾの形状及び寸法 ・テラゾの表面仕上げ	☐ テラゾの仕様（品質、種石の種類など）が設計図書通りであることの確認 ☐ テラゾの形状及び寸法が設計図書通りであることの確認 ☐ テラゾの表面仕上げが設計図書通りであることの確認
	10.2.3	取付け金物等	・受金物 ・取付け金物	☐ 受金物の材質、形状及び寸法の確認 ☐ 受金物が鋼材である場合に、錆止め塗装の確認 ☐ 取付け金物（引金物、だば、かすがい等）の材質がステンレスであることの確認
	10.2.4	シーリング材	・シーリング材	☐ 石材の種類、取付箇所などに適切なシーリングが選択されていることの確認
3. 施工	10.3.1	施工	・施工基準 ・養生 ・出来映え	☐ 石工事の施工が設計図書、石工事施工計画書、施工図通りに実施されていることの確認 ☐ 石の損傷がないように、養生されていることの確認 ☐ 全体から見た石材の出来映えに問題がないことの確認